

会 議 録

会 議 の 名 称	小金井市新庁舎・(仮称) 福祉会館建設 基本設計 第3回 こがねいミーティング
事 務 局	佐藤総合計画株式会社 公共施設マネジメント推進担当課長 企画政策課企画政策係主査 企画政策課企画政策係主任 福祉保健部長 福祉会館等担当課長 地域福祉課地域福祉係主査 渡辺 猛 河田 健 猪原 昭宏 井上 遼 今井 哲也 渡邊 健介 小林 洋輔 萩野 裕人 中谷 行男 前島 賢 山口 晋平
開 催 日 時	令和元年10月17日午後7時00分から午後9時00分まで
開 催 場 所	第一会議室
出 席 者	卯月 盛夫 委員長 齋藤 啓子 委員 上原 和 委員 坂野 勝一 委員 諏訪間 千晃 委員 中村 彰宏 委員 森田 眞希 委員 石塚 勝敏 委員 矢野 典嗣 委員 高橋 茂夫 委員
傍 聴 の 可 否	可
傍 聴 者 数	6人
会 議 次 第	1 開会挨拶 2 第2回こがねいミーティングの方針検討 3 第3回市民ワークショップに対する方針の検討 4 閉会
会 議 結 果	別紙のとおり
発言内容・発言者名 (主な発言要旨等)	別紙のとおり
提 出 資 料	資料1：第3回こがねいミーティングアジェンダ 資料2：第2回こがねいミーティング会議録 資料3：第2回こがねいミーティングの方向性(案) 資料4：第3回設計ワークショップ 資料5：第3回設計ワークショップまとめ 資料6：第2回UDレビューヒアリングまとめ 資料7：平面図(案)
そ の 他	—

次第1 開会挨拶

《事務局より開会及び挨拶》

次第2 第2回こがねいミーティングの方針検討

【事務局】 第2回こがねいミーティングから現在の取組みについて説明させていただく。

第2回こがねいミーティングでは、第1回のテーマである「ひろばの方向性」をお示しただくとともに、「マルチスペースの使い方」について議論をいただいた。9月に開催された令和元年第3回市議会定例会において、こがねいミーティングでの「ひろばの方向性」を示させていただいた。また、方向性の中で示された、福祉会館の屋上へと繋がる「立体的なひろば」を議員の皆さんにもイメージを共有いただけるよう、一定期間、模型を議会フロアに提示させていただいた。9月28日には、第3回ワークショップを開催し「多目的室の使い方」について、市民の皆さんからご意見をいただいた。10月にはユニバーサルデザインレビューとして、子育て関係の団体、車いす利用者、聴覚障がいのある方に、キッズスペース、授乳室、多目的室、トイレ等の使い方、設備等について、ご意見を伺った。本日は、第2回のテーマである「マルチスペースの使い方」の方向性を議論していただき、方向性をとりまとめていただきたいと考えている。その後、第3回のテーマである「多目的室の使い方」について、ご議論をいただきたい。

【佐藤総合計画】 第2回こがねいミーティングでは、マルチスペースについて議論を行った。第2回こがねいミーティングの方向性（案）として大きく4つにまとめ、検討方針を示す。1つめはマルチスペースの使い方、用途、利用者等に応じた明確な区分となるよう工夫することであるが、会議室や多目的室は防音対策等を講じる・幅広い利用者属性等に対応できるよう管理運営方法等を整理することとする。2つめは、マルチスペースと市民参画スペースを一体的に活用できるよう工夫することであるが、市民活動等も行えるよう管理運営方法等を整理する・市民参画スペースをガラスで囲む場合は、安全性に配慮する・吹抜けを活かしたマルチスペースの活用ができるよう検討を行う・飲食を可能とする場合を含めた管理運営方法等を整理することとする。3つめは、魅力的な展示スペースとなるよう工夫をするであるが、誰もが見たくくなるような、オープンな展示スペースとなるようイメージを整理する・効率的な展示用備品の収納、管理方法となるよう検討する・夜間の展示も考慮した照明計画となるよう検討することとする。4つめは、人をやさしくするような空間デザインとなるよう要望することであるが、こがねいミーティングでの方向性を受け止め、検討を行うこととする。

【委員長】 第2回こがねいミーティングの方向性に対して、他に付け加えておくことはあるか。

【委員】 安全性の配慮として、ガラス張りの部屋は飛散防止フィルムを貼ったり、色をつけるなどして人がぶつからないように工夫してほしい。

防災について、階段を色分けして分かりやすくする工夫もよいという意見がある。

第二庁舎の階段のように階段の段数が分かるようになっていると遊び心があってよい。

多目的室のサインは、記号と文字を併用して分かりやすいサインとしてほしい。また、だれでも見やすい位置に設置してほしい。

【委員】 サインは高さ・大きさ・表示面の面積・色が重要である。

【委員長】 サインの高さ、掲示板の位置や大きさ、運営方法についても配慮してほしい。サインの色については、どのように考えているか。

【佐藤総合計画】 サインについては、ピクトサインなども活用しながらわかりやすさに配慮したいと考え

ている。

【委員】 市民参画スペースはガラス張りであるべきなのか。使い方と合わせてガラス張りの理由を示してほしい。もしくは、ガラスもなしで、低い仕切りのみで解放的にしても良いのでは。

【佐藤総合計画】 音の出る活動は、2階以上の多目的室を想定しており、吹抜けまわりはガラス張り程度とし、中間領域として様々な使い方を想定している。

【委員長】 第2回こがねいミーティングの方向性としては、事務局の案のとおりとし、引き続き検討を進めるということでしょうか。

(異議なし)

次第3 第3回市民ワークショップに対する方針の検討

【佐藤総合計画】 多目的室の利用イメージとしては、年齢や障がいの有無に関わらず、あらゆる市民が集える各種イベントや講演、講座、研修等の開催・健康づくり、生きがづくり等、市民の個別のニーズに応じた学習機会や学習の場としての活用を考えている。また、旧福祉会館で行われていた各種活動を行う場となる。それを踏まえて意見をいただいた。多目的室に加え、立体ひろばとしての屋外テラスと屋上庭園についても使い方に関する意見をいただいた。市民ワークショップのほかにユニバーサルデザインレビューを行い、子育て団体からは、授乳室や庁舎のキッズスペース、便所や多目的室について意見をいただいた。身体障がい者、聴覚障がい者、高齢者団体からは、便所、多機能トイレ、階段、エレベーター、多目的室について意見をいただいた。

【委員長】 各意見を平面図にまとめていただいている。皆さまの意見をいただきたい。

【委員】 1, 2階含め多目的室があるが、開く部屋と閉じる部屋の違いや、それぞれの多目的室の使い勝手があると思うが、どのように考えているか。

【佐藤総合計画】 複合するメリットを活かし、1階は活動が見えることを基本にして考えており、ガラス張りを想定している。2階は吹き抜けに面している部分はガラス張りを想定している。間仕切り部分は壁にするなどして壁の部分も確保する想定としている。

【委員】 創作活動をするスペースとして、水場がある室を設けるのもよいのではないかと。

【佐藤総合計画】 どんな活動をするか分かっているのであれば、すべて多目的ではなく、活動に応じた個別の部屋を設けるのもよいと考えている。

【委員】 一般に公共施設は30年程前には創作スペースがなかった。市民の要望があれば創作スペースをつくるのはよい。床をハードに使える部屋が1室あると良いと思う。

【委員】 多目的室の想定人数はどの程度か。障がいのある人にとって使いやすいようにプロジェクターの設備があるとよい。Wi-Fiの設備や聴覚障がい者用に字幕が出る設備もあるとよい。

【佐藤総合計画】 1階多目的室は140㎡程度、2階は40㎡程度で小学校の教室の2/3程度、口の字配置で20人程度が活用可能である。調理実習が65㎡程度で計画している。

- 【委員】 大きな部屋はパーテーションなどを利用して可変性のあるものがよい。防犯上の観点から多目的室は、外から見えるほうがよい。
- 【委員】 1階の多目的室①は、上映会ができるスペースがあるとよいが、利用想定人数はどの程度か。調理実習室は、料理教室ができるような設備配置としてほしい。屋上庭園は、東西は見通しをよくして、北は電車が見えるようにしてほしい。早朝や夜間も使えるとよい。ビュースポットとして何が見えるか検討してほしい。初日の出、月食なども見えるとよい。
- 【佐藤総合計画】 多目的室①は、椅子のみであれば150人程度利用可能である。屋上広場から何が見えるか確認し、検討したい。
- 【委員】 自然災害が起これば、この場所がベースキャンプになった時に、多目的室が有効に使えるように動線計画などに配慮してほしい。
- 【委員長】 災害時、市役所はどのような機能を担う想定をしているか。また、屋外階段はどのような設えとなるか。
- 【委員】 庁舎は防災拠点であり、5階が災害対策本部となる想定である。福祉会館は災害医療救護活動拠点や災害ボランティアセンターを設置することになる。
- 【事務局】 1階多目的室などを災害ボランティアの受付に転用できるように想定している。具体的な活用については、社会福祉協議会とも今後協議していく。
- 【佐藤総合計画】 外部階段の途中で舞台のような空間をつくったり、階段を上った部分に人が溜まる空間を配置する等、登りたくなる階段となるように考えている。また、植栽で緑がつながるような設えも想定している。
- 【委員】 作品を展示したいという声が多いので、廊下壁の上側スペースも活用してはどうか。また、市役所への用で訪れる多くの市民にも展示を見てもらいやすいよう動線を工夫してはどうか。
災害が起これば、非常電源で冷暖房は対応出来るのか。また、多目的室を使う時に、部屋の外で行われる演奏会等の音が完全に遮断されているようにする必要がある。
- 【佐藤総合計画】 災害時の空調は、エリアで区分し、必要最小限とする想定である。防音については各室の使い方によって適宜計画する。
- 【委員】 2階多目的室について、調理実習室と多目的室⑥を入れ替えると多目的室群がまとまり、使い勝手が上がるのではないかと。また、庁舎用の会議室は吹抜けまわりにあってもよいのではないかと。
- 【委員】 多目的室は、青年学級を月2回使えるような広い場所が欲しい。「障害のある人もない人も共に学び共に生きる 社会を目指す小金井市条例」も参考にされたい。
- 【委員】 日本舞踊等ができる和室の部屋があってもよいのではないかと。災害時の際には、休憩できるため、和室の部屋があってもよいと思う。
- 【委員】 北側のガラス張りについて、防音・遮音に対しては配慮してほしい。
- 【佐藤総合計画】 JRからの音に配慮して、北側ガラスは基本的に固定窓として、かつ防音仕様で考えている。換気については段状となっている部分の下部から取り入れる想定をしており、換気部

分は消音を施す想定をしている。

【委員】 ガラス張りは熱効率に配慮してほしい。福祉会館の吹抜け部分の冷暖房のロスはどのように考えているか。

【佐藤総合計画】 経験上、2層吹き抜けまでは熱的に問題ない。3層目はシミュレーションを行いながら、今後検討していきたい。子育てひろばの吹抜けに面する部分は、安全性を考慮しながら、活動が見えるようにガラス張りを想定している。

【委員】 1階の便所について、イベント時に多くの人々が来た際にも対応は可能か。多機能トイレは全フロアが同じでなくてもよい。階によって、異なる仕様としておけば、さまざまな障害の方が、自分の使いやすいトイレを選択して使うようになる。ジェンダーフリーの問題が最近話題となるが、どのような考えか。

【佐藤総合計画】 分かりやすさに配慮して、1～3階の同じ場所に便所を配置している。土日のイベントの際は、1階のみではなく、福祉会館の2、3階も使う想定で計画している。

【事務局】 ジェンダーフリーについては、担当課とも協議しているが、専用トイレを設けるのではなく、多目的トイレを使用する想定である。

【委員】 多機能トイレに対してベビーベッド設置の意見があるが、大人のおむつ替えにも使用できるよう、一般トイレでは、男女それぞれのトイレの一番奥はカーテンとして車いす対応にもなると良いと考えている。

【委員長】 コストをかけずに、ブースのサイズを一樣にするのではなく、幅を調整して、大きなブースを設けるなど工夫をしても良いと思う。

【委員】 緊急時に備えて、太陽光発電設備は設置していただきたい。

【佐藤総合計画】 太陽光発電は設置する想定である。発電量は今後、検討を進める。

【委員長】 本日は、多目的室周辺について議論をいただいた。多目的室については、創作室や工作室があってもよいのではないかという意見があった。全体としては、活動の見える化、外から見えることが重要であるという意見があった。ワークショップの意見に対しては採用の可否を含めて、意見の整理が必要である。多目的室の仕様が分かるようにし、さらに、2階の吹抜けに面した会議室の配置、仕様を検討していただきたい。

屋上テラス、屋上庭園については、屋上から何が見えるか、どの季節によい風が吹くかなど把握して今後の検討に活かしてほしい。屋外階段の大きさや使い方にも配慮してほしいという意見があった。

防災については、有事と平常時の使い方の両方を想定する必要があるという意見があった。

全体については、サインや色の問題の中で、より多くの人にとって分かりやすいものとしてほしいという意見があった。分かりやすいように壁面の色を変えるというのも考えられる。

市役所を暖かい場所とする意味でも、展示物に対する工夫をしてほしい。

人にやさしくするデザインとして、トイレについて工夫をお願いしたい。

今回の議論は第4回に結び付けることとする。

【委員】 活動の見える化を進める中で、壁面が少なくなるので、壁面の使い方について、掲示物やサインとの兼ね合いをシミュレーションしてほしい。

【佐藤総合計画】 空間の設え方等を模型を用いて提示したいと考えている。

以上